

水郷随一の名勝として知られ、江戸時代からの
 伝統を今に伝える水路に架けられた十二の橋を、
 女船頭の操るサッパ(笹葉)舟でめぐる。
 橋には、ひとつひとつ名前がつけられており、
 その特徴や由来に思いを巡らせてみてはいかが。



加藤洲十二橋舟めぐり

思案橋 しあん
Shian-bashi

黄門橋 おうもん
Koumon-bashi

憩いの橋 いひの
Iki-no-bashi

偲の橋 しの
Shinobu-bashi

金宝樹の橋 きんぽうじゆ
Kimpouju-no-bashi

藤見の橋 ふぢみ
Fujimi-no-bashi

見送り橋 みかえ
Mikaeeri-bashi

水仙橋 すいせん
Suisen-bashi

想い出橋 おもいで
Omoide-bashi

子育ての橋 こども
Kodomate-no-bashi

十六夜橋 いざよひ
Izayoi-bashi

行々子橋 よしまろ
Yoshikiri-bashi

YODAURA 歴史散策

蘭華寺

平成元年に日本国内で最初に設立されたスリランカ寺院です。布教活動をはじめ全国の仏閨や団体を回り法語を通して正しい仏教の導きを行っています。日本でいう仏教の宗派はありません。また幼児教育を中心とした子供達への文化の伝導も活動の一つです。毎月第2、第3土曜日、瞑想教室も開催されていますので、日常の生活を離れて、頭を空にしてストレスを解消してみたいですか? 皆さん日本語が堪能なので、安心してお気軽に連絡ください。



[香取市筈島3318-5 宗教法人蘭華寺 ☎0478-56-1394]

加藤洲子育て観音(長善院)

加藤洲の観音様こと「長善院」は、子育ての観音様として昔から広く知られています。休日には健康で明朗な子に育つようにと祈禱に訪れる母子の姿が多く見られます。また、ひきつけ・夜泣きの激しい子には「蟲封」の祈禱も施しています。



[香取市加藤洲518 ☎0478-56-1460]

砂場観世音子授子安観音

遠方より子宝に恵まれるようにと多くの方が訪れ、毎月18日にご祈禱してもらえます。ご祈禱では、観音様の腕に抱かれている子供の仏像を抱かせてもらい、いただけるお米は翌朝炊いて食し、お守りは常に持ち歩き、帰りはどこへも寄り道せずに帰らなければならないといわれています。



[横利根閘門近く]

与田浦へのアクセス

【車】東関東自動車道
 佐原香取ICから25分・
 大栄ICから30分

【電車】JR成田線佐原駅から
 関鉄観光バス 与田浦経由
 潮来行20分 水生植物園入口
 下車
 (※バスの本数は1日6本程度)
 または十二橋駅 レンタサイクル等利用

【高速バス】関鉄グリーンバス 東京駅発銚子駅行
 与田浦水生植物園下車 徒歩数分



香取市商工観光課

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 ☎0478-50-1212 ☎0478-54-7654
 E-mail kanko@city.katori.lg.jp URL <http://www.katorishi.com>

水と花の郷

Riverscape,
 Flowers and
 Junikyo-funameguri
 YODAURA



加藤洲十二橋舟めぐり



カスリのモンペ姿で笠をかぶった女船頭さんが、水郷を漂わせる細い水路を、巧みな竿さばきで舟を進めます。

また加藤洲は、あやめが綺麗なことで有名で、「あやめ祭り」が開催される6月頃になると特に賑わいをみせ、舟の上から買い物ができる水上ドライブインがあったり、風情もひとしおです。

加藤洲十二橋舟めぐり 奥水郷観光協同組合 ☎0478-56-2280
 遊覧船の案内 中州船頭組合 ☎0478-56-0968
 水郷佐原開発(有) ☎0478-56-0183



新左衛門川兩岸の芝桜

加藤洲十二橋が架かる新左衛門川の兩岸には、芝桜が植えられています。4月上旬から5月上旬にかけて、小さな可憐な芝桜が一面に広がり、目を楽しませてくれます。

いちじく収穫体験

収穫したその場でもぎたてのおいしさを楽しむことができるのは、味覚狩りならではの醍醐味。桃と洋ナシをかけたような上品な香りと甘さがいちじくの特徴です。

収穫時期は8月中旬から11月上旬(要予約)

香取市いちじく研究会 ☎0478-56-1055 ☎Fax0478-56-2110



よだうら観光マップ

春から秋へ。四季折々の花と自然が楽しめる与田浦

水郷佐原水生植物園 ①

東洋一の花菖蒲、日本一の高さで名高い水生植物園。400品種150万本の花菖蒲と300品種以上の花ハスが咲く景観は見事。毎年6月には「あやめ祭り」が開催され、多くの観光客で賑わいます。

香取市扇島1837-2 ☎0478-56-0411
 入園時間/9:00~16:30(但し、あやめ祭り期間中は8:30~18:00)
 休園日/月曜、年末・年始(但し、5~8月は無休)



千葉県立中央博物館大利根分館 ②

「利根川の自然と歴史」「千葉県の農業」をテーマとする博物館。香取・海匠地方等、利根川下流の東下総地域の歴史、民俗、自然に関する資料を収集・展示しています。また各種講座も開催しています。

香取市佐原ハ4500 ☎0478-56-0101
 開館時間/9:00~16:30
 休業日/月曜、10/1~3/31
 料金/一般200円、高大生100円、中学生以下・65歳以上無料、特別展別料金



中央博物館のとなりには市民プールがあります



横利根閘門 ③

国指定の重要文化財である横利根閘門は、水位差がある利根川と横利根川とを船舶で航行できるようにするための施設です。ヨーロッパの運河を思わせるレンガ造りで、パナマ運河の構造に似ています。閘門の周辺は横利根閘門ふれあい公園として整備され、サクラの名所、横利根川に面した釣りの名所として憩いの場となっています。家族連れでのんびり過ごすのがお勧めです。



JR十二橋駅と与田浦十二町歩 ④

JR鹿島線の駅で、高架線上にある無人駅です。駅を降りると周囲には田園風景が広がり、水郷の景観をおおいに満喫できます。鹿島線と与田浦が交差する周辺に、広大な土地が広がっており与田浦十二町歩と呼ばれています。野球場も整備され、春には菜の花畑が広がり、秋にはコスモスが全面に咲き乱れます。



横利根川等の釣り

横利根川は、関東随一のへら鮒釣りのメッカとして知られ、多くの釣り人が訪れています。毎年、放流も定期的に行われ、舟釣りや陸釣りを楽しむことができます。



関東の富士見百景

与田浦周辺地域からは、一年を通じて筑波山が見え、冬の寒い早朝など空気の澄み切った日には筑波山の西側に富士山が見られることから関東の富士見百景に選定されています。富士山頂から太陽が昇る瞬間と夕日が沈む瞬間に、まるでダイヤモンドが輝くような光景が見られることがあり、この現象をダイヤモンド富士と呼びます。与田浦周辺地域からも年2回見るすることができます。

